

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ

<http://www.kagyoren.jf-net.ne.jp/>



JF
香川漁連

高松市北浜町 8-25

TEL 087-825-0350

FAX 087-851-0699

謹賀新年

香川県漁業協同組合連合会

代表理事会長 嶋野 勝路



新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、本会業務運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、ここに厚く御礼申し上げます。

東京オリンピック・パラリンピックでの日本人選手の活躍を期待して始まった令和2年でしたが、新型コロナウイルス感染症の大流行により、感染者は世界全体で8,500万人を超え、未だに感染が拡大し収まる兆しが見えません。日本国内の感染者数は24万人を超え、経済状況は緊急事態宣言等の自粛による個人消費の低下等、危機的状況が続いております。国内水産業では、コロナ禍による経済活動の抑制や自粛等により水産需要が低迷し、水産関係者に甚大な影響が出ています。コロナ以前の日常に戻るには時間が掛かると思われませんが、一日も早い収束を祈るばかりです。

そのような中、昨年12月1日には、漁業法等が改正され施行されました。改正漁業法の大きな柱である海面利用制度や新たな資源管理をはじめとした制度の運用にあたっては、国は漁業者と十分な協議を行い一体となって取組むことで、漁場を適切かつ有効に活用している漁業者が、将来に向けて安心して漁業が継続できるよう期待しております。

一方、県下漁業を振り返りますと、魚類養殖業、漁船漁業ともに新型コロナウイルスの影響で外食産業等が打撃を受け、それに伴い需要も減少する等、漁家経営の収支に悪影響を及ぼしています。またノリ養殖業においては、高水温の影響や、鳥、魚等の食害により12月の生産が遅れたことにより、第1回乾海苔共販が順延となりました。年明けからは海

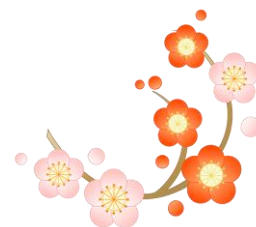
況が回復し順調な生産増が期待されます。

本会といたしましては、引き続き県内水産業の振興に努めるとともに、漁船リース事業、新リース事業、機器等導入緊急対策事業等を推進し、地域全体の競争力強化を図ってまいります。また、水産資源の安定供給及び漁業経営の安定を確保するため資源管理型漁業の普及啓発に努めるとともに、燃油及び配合飼料のコスト高騰対策である漁業経営セーフティネット構築事業を推進してまいります。

また、「さぬき海の幸販売促進協議会」事業も新型コロナウイルスの影響で県内外にて従来行っていた販促イベントが出来ず、YouTube等にて情報発信を行いました。本年も昨年同様、活動については不透明ですが、関係団体、県、業界が一丸となり県産水産物の販路拡大、知名度向上を一層推進してまいります。

今後も厳しい経営環境が予想される中、会員・所属員の経済的、社会的地位の一層の向上を目指して諸事業に取り組んで参る所存でありますので、会員各位をはじめ関係者諸賢におかれましては、なお一層のご協力をお願い申し上げる次第であります。

最後に、皆様方の限りないご繁栄とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶と致します。



善意をありがとう

（公財）漁船海難遺児育英会にご寄付をいただきました。ご芳名を掲げ、厚くお礼申し上げます。

山本 浩智 様

（鴨庄漁業協同組合 代表理事組合長）

香川県かん水養殖漁業協同組合

代表理事組合長 高 野 勇

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年のかん水養殖業を振り返りますと、種苗の搬入時期に、新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言が発令され、外食産業の自粛や休業、多くのイベントの中止を余儀なくされる状態となり、社会経済活動に大きな影響が出始めました。今後の養殖魚については、景気の悪化による販売不振、価格の暴落等の懸念が予想されました。

搬入後は、台風などの自然災害の大きな影響はなく、引田地区で赤潮が発生しましたが、大きな被害も無く順調に生育しました。しかしながら、養殖業者にとって大切な餌飼料が世界的な天然資源の減少、コロナウイルス感染症による操業自粛や、外国人労働者不足での休業等により、夏から秋にかけて生餌が高騰し、餌代などの経費がかさむ極めて厳しい状況となりました。

出荷状況については、ハマチ、カンパチ共に昨年と同じく若干の成長遅れはありましたが、例年より早い9月1日からの出荷が開始されました。

カンパチは昨年より450円安い1,000円からのスタートでしたが、荷動きは非常に悪い状況の中、香川県漁連等の補助事業を活用した販売により12月中旬に完売となりました。

ハマチは昨年より100円安い700円からのスタートで12月には600円となりました。県内のハマチ約6万尾程が年越しを余儀なくされましたが、1月中旬頃には完売する見通しとなっております。

かん水養殖業では本年も、消費者に安全で安心な高品質の養殖魚を提供するため、日々、魚類養殖に取り組んでまいります。また、さぬき海の幸販売促進協議会と協力し、香川が誇るブランド食材のハマチ3兄弟、ひけた鰺、なおしまハマチ、オリーブハマチとオリーブマダイの販路拡大とブランド強化にこれからも積極的に取り組んで参りたいと思います。

本年も香川県水産課並びに香川県漁連、系統団体と更に協力し、役員一同一丸となって安全、安心で美味しい県産養殖魚を後世に引き継ぐために、また、コロナに負けずに踏ん張っていきますので、尚一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、関係各位の皆様のご健勝とご発展を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



一般社団法人 香川県海苔養殖研究会

代表理事会長 西 口 正 弘

新年明けましておめでとうございます。令和3年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、新型コロナウイルスによる感染拡大等がありましたが、なかなか対策が追い付かない状況であります。春頃にはワクチンの接種が可能となる見込みであり、期待したいものです。

また、その影響による消費の落ち込み、海苔に関しましてもステイホームにより、家庭用は若干伸びたものの、コンビニ等主力の業務用が大きく落ち込んだようです。GoToキャンペーンにより一時的に回復したものの11月からの第3波により各地で再度の時短要請等があり、先行き不透明であります。

また、前述の通りコロナの影響により各種イベントが中止、縮小となり当研究会のPR活動にも大きく影響し、活動の大半ができない状況となりました。同様に、着業検討会、商社訪問、後継者研修も実施できませんでした。

さて、今年度を見てみますと高水温、低栄養塩の中、10月20日過ぎより育苗が開始されましたが、多少の生理障害等はあったものの、概ね順調で11月20日過ぎからは本張りが開始されました。12月初めには生産開始となりましたが、僅かの生産枚数しかなく予定されていた12月16日の入札は中止となってしまいました。今後の本格生産に期待したいと思います。

最後になりますが、会員各位、関係者の皆様のご健勝と本年海苔養殖の豊作をもって、皆様が笑顔で漁期終了を迎えられる事を祈念申し上げて年頭のご挨拶と致します。



香川県無線漁業協同組合

代表理事組合長 嶋野 勝 路

新年明けましておめでとうございます。

令和3年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年中は当組合の事業運営につきまして、組合員の皆様を始め、関係官庁・関係団体の皆様には、格別のご支援を賜り誠に有難うございます。

さて、去年は、新型コロナウイルス感染症の拡大という難局に直面し、感染拡大を防止するために、緊急事態宣言の発出や、飲食店等の時短営業が行われるなど経済は厳しい状況に置かれました。漁業者においても水産物の需要減少や魚価安により漁家経営に大きな影響を受けており、生産活動は低迷し、今後の長期化が懸念されています。

このような状況の中、新型コロナウイルス感染症の影響を克服する為に感染症拡大防止対策を行う必要があります。漁船用高機能無線機は、漁場探索、漁獲に係る様々なデータを漁船・漁協関係者が瞬時に共有し、漁獲方針の検討・報告等に係る接触機会を減らすことや、空からの飛翔体による海難事故防止等の緊急時の情報・操業安全に関する情報を一斉送信できるなど、優れた機能を持っています。

また近年では、漁業用無線を装備した漁船による事故の対応として、緊急支援システム等の事故情報を発信する装置の開発が進んでおり、デジタル無線機であれば、受信した各種気象情報や緊急通報などが文字で蓄積される機能があります。無線機の高機能化は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を含む、漁業操業の安全性の向上等に貢献することが期待されております。

本県の漁業を取り巻く環境は、漁業後継者不足、漁獲量の減少など依然として厳しい状況下にあります。当組合におきましても、高齢化に伴う組合員の減少や無線利用者の減少が続いておりますが、本県の基幹漁業である漁船漁業の発展のため、漁業無線の円滑な運用に努めていく所存ですので、組合員各位をはじめ、関係官庁並びに関係団体からのご指導・ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、皆様方のますますのご健勝とご繁栄を祈念申しあげ、新年のご挨拶といたします。



一般社団法人 香川県水産振興協会

会 長 嶋野 勝 路

新年明けましておめでとうございます。

令和3年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年中は当協会の業務推進につきまして、会員の皆様を始め、関係団体の皆様には格別のご支援、ご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、年頭から新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念され、その後の緊急事態宣言の発出に伴い、生活環境が著しく変化した一年でした。自粛気運の高まりにより、イベント事業の中止、外食産業の時短営業や休業など国内経済は未だに厳しい状況が続いております。国内水産業では、コロナ禍による経済情勢の悪化から販売不振、魚価の低迷など多大な影響が出ています。本年も先行きが見えない状況ですが、水産業に与える影響が気になります。

また、多くの魚種で漁獲量の減少が見られ、水産資源の回復を切に願うところです。

本協会の事業といたしましては、引き続き4月初旬から11月下旬までマダコ、ヒラメ、クルマエビ、キジハタ、メバル等の重要魚種の種苗放流を継続実施し、水産資源の維持増大に努めてまいります。また、水産資源の維持とともに魚食普及の推進が大きな課題となっており、県産水産物の食材活用を目的とした水産食育教室を開催するとともに、近年増加している海中転落をはじめとした海難事故については、関係機関と連携し、ライフジャケットの着用推進を目的とした講習会を開催し、会員の皆様に法令遵守の啓発に努めます。併せて、ネットローラーの巻き込み防止装置につきましても設置推進を図ってまいります。

漁場環境保全対策事業としては海浜清掃事業等の支援を行い、大量の海岸漂着ごみの回収に協力してまいります。

最後に、令和3年度が事故無く豊漁となりますよう祈願し、併せて会員並びに関係者皆さまのご活躍とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



全国漁業協同組合連合会

代表理事会長 岸 宏

あけましておめでとうございます。年頭にあたり、全国の皆さまに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

振り返りますと、去年は、これまでのJFグループ系統運動の中でも経験したことのない厳しい1年でした。従来と異なる回遊行動や資源の減少等による記録的不漁、新型コロナウイルスの感染拡大等を受けて、浜では産出額が落ち込み、生産の基盤となるJFの経営においても売上高、営業利益が減少し、影響等の長期化が懸念されております。

そのため、JFグループでは、漁業者が安心して生産活動を営み、産地市場をはじめJFの経営を安定・継続していくことを基盤として、水産政策の改革を自らの課題として実践していくために、追加経済対策の確立を関係要路に強く要請し、その結果、要望事項を網羅する3,065億円と3年連続で3,000億円を超える予算を勝ち取ることができました。ここに改めまして、会員並びに関係の皆様のご協力・ご支援に対しまして御礼申し上げます。

本年は、昨年12月の改正漁業法の施行を受け、わが国漁業の成長産業化に向けた本格的な改革がいよいよ始まります。改革を成功させるためには改革の実践者である浜の漁業者が理解し、納得することが重要ですので、海面利用制度や新たな資源管理などの具体的実践にあたっては、漁業者・JFグループが国や都道府県とこれまで以上に十分な協議を行ったうえで、一体となって取り組み、水産政策の改革が実効性あるものとなるよう努めて参ります。

本年度から取り組んでいるJFグループの運動方針にかかるアクションプランにおいても、資源管理を前提とした循環型漁業の構築を目指し、漁業者の取り組みをJFが支えるべく、担い手育成、合併等組織再編、産地市場統合、販売事業改革などに取り組み、浜プランの後押しや浜の構造改革を実現して参ります。また、昨年開設した産直通販サイト「JFおさかなマルシェギョギョいち」を活用していただくことで、コロナ禍で消費が落ち込んだ国産魚介類の消費拡大の一翼を担って参ります。

依然として、外国船による違法操業問題、震災復興などの課題が山積しておりますが、漁業者が長きにわたり希望を持って漁業を営めるよう今後も鋭意活動していく所存です。

会員をはじめ、関係者の皆様におかれましては、これまで以上に英知と総力を結集していただき、漁業の

成長産業化に向けた浜の構造改革への引き続きのご理解・ご協力を頂きたいお願い申し上げます。

最後になりますが、漁業の豊かな将来を念じつつ、全国各地でご活躍の皆様の操業の安全とご繁栄・ご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



乾海苔初入札

令和2年度県内産養殖ノリ（乾海苔）の初入札会が、12月24日（木）高松市瀬戸内町の本会共販所において開催されました。



第1回共販の様子

今年の本張りについては、海水温の低下が鈍い為、県下全体で例年より遅い張り込みとなりました。12月上旬からの生産となりましたが、水温の横這い、食害、風波等の影響もあり、生産枚数が少なかった為、予定していた12月16日の入札は中止となりました。

初入札の出品枚数は16,403千枚、入札金額1億96,671千円、平均単価は11.99円でした。12月末累計前年対比は枚数101%、金額85%、平均単価2.21円安でした。

これから県下全地区で本格生産に入りますが、今漁期の豊作を心より期待致します。

今年度の共販日程は

1月 9日（土）・19日（火）・29日（金）

2月10日（水）・23日（火）

3月10日（水）・20日（土）・31日（水）

となっています。